

扶桑町教育委員会事務点検評価報告書

(令和4年度事業)

令和5年8月

扶桑町教育委員会

扶桑町教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たすため、令和4年度における扶桑町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめましたので、議会に提出するとともに公表します。

扶桑町教育委員会委員名簿

(令和5年7月1日現在)

教 育 長	澤 木 貴美子
教育長職務代理者	松 山 信 雄
教 育 委 員	千 田 まち子
教 育 委 員	江 口 夏 世
教 育 委 員	千 田 正 仁

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

1. 点検及び評価の目的	1
2. 点検及び評価の対象	1
3. 点検及び評価の方法	1
4. 点検及び評価の経過	1
5. 評価項目	1
6. 事業の内容及び評価	4
7. 令和4年度扶桑町教育委員会の事務の点検及び評価のまとめ	28

1. 点検及び評価の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければなりません。

また、点検及び評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

このため、点検及び評価の対象は、令和4年度事業とし、その報告書を議会へ提出するとともに、扶桑町ホームページで公表します。

点検及び評価については、次のような対象及び方法で行いました。

2. 点検及び評価の対象

第5次扶桑町総合計画で示された「施策」を中心に、各課で実施した主要な事業を対象としました。

3. 点検及び評価の方法

点検及び評価の客観性を確保するために、「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」を図ることとし、学識経験者の意見を参考にしながら、教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行いました。

外部評価委員

委員長 教育長 澤木貴美子

学識経験者 小室明正・倉橋伸子

※扶桑町教育委員会外部評価委員会設置規則第3条及び第5条に基づきます。

4. 点検及び評価の経過

第1回委員会 令和5年7月26日（水）

点検（資料説明及び質疑応答）

第2回委員会 令和5年8月9日（水）

評価及び総評

5. 評価項目

第5次扶桑町総合計画の概要（該当部分のみ抜粋）

<まちづくりの視点>みんなの笑顔が かがやくまち 扶桑町

基本目標1 みんなで“支え合う” ～ほっこり暮らせるまちづくり～

子育て支援

3 子どもの居場所づくり

(1) 放課後子ども広場事業

基本目標 2 みんなで“学び育む” ～次代と豊かな心を育むまちづくり～
学校教育

- 1 教育環境の整備
 - (2) 学校施設改修整備事業
 - ①大規模改修事業
 - ②小学校・中学校エアコン整備事業
 - ③長寿命化計画策定事業
 - (3) スクールガードボランティアの実施
 - (4) 町民聴講生制度
 - (5) 私学助成事業
 - ①子育てのための施設等利用給付補助事業※
 - ②私立高等学校等授業料補助事業
 - (6) 要保護及び準要保護児童・生徒援助事業
 - (7) 学校運営協働協議会事業※
- 2 学校保健・学校給食の充実
 - (8) 学校給食事業
 - ①食育推進事業
 - ②食物アレルギー対応食の実施
- 3 教育内容の充実
 - (9) 外国語講師派遣事業
 - (10) ICT 教育推進事業
 - (11) キャリア教育推進事業
- 4 児童・生徒への支援の充実
 - (12) 養護教諭及び支援員等配置事業
 - ①養護教諭加配事業
 - ②特別支援員配置事業
 - ③医療的ケア支援員配置事業
 - ④部活動外部指導者配置事業
 - (13) 児童生徒支援事業
 - ①適応指導教室運営事業
 - ②就学前教育相談事業
 - ③スクールソーシャルワーカー配置事業
 - (14) 地域学習活動支援事業
 - (15) いじめ問題対策連絡協議会

家庭教育・青少年育成

- 1 青少年の健全育成
 - (16) 青少年健全育成推進事業※
- 2 家庭教育の充実

- (17) 家庭教育推進事業
- 生涯学習
 - 1 生涯学習機会の充実
 - (18) 生涯学習事業
 - ①生涯学習講座事業
 - ②世代間交流事業※
 - ③文化祭、町民音楽祭、美術展、町民茶会
 - 2 スポーツの普及促進・推進体制の充実
 - (19) スポーツの普及促進・推進事業
 - ①スポーツ大会の実施
 - ②総合型地域スポーツクラブ
 - ③学校体育施設スポーツ開放事業
 - 4 図書館の充実
 - (20) 図書館事業
 - ①図書館インターネット予約事業※
 - ②図書館整備運営事業
 - (21) 図書館ボランティアの養成・支援
- 文化・芸術
 - 1・2 次世代へつなぐ文化の創造・地域文化の担い手の発掘と仕組みづくり
 - (22) 文化会館事業
 - ①公演事業
 - ②ふそうのロビコン（ロビーコンサート）
 - ③扶桑町登録アーティスト紹介事業
 - 3 文化・芸術活動への支援体制
 - (23) ボランティア団体（ふそう文化会館夢応援団、扶桑文化会館友の会）の育成
 - 4 文化財の保護と活用
 - (24) 文化財保護事業

事業名の後に「※」印がついた事業は、第5次扶桑町総合計画の「施策」に示されていませんが、各課で実施した主要な事業となります。

6. 事業の内容及び評価

(1) 放課後子ども広場事業（生涯学習課）

事業の目的	放課後子どもプランを推進し、放課後における子どもの安全安心な活動場所を確保します。
事業内容及び実績評価	<p>1・2年生を対象に小学校の余裕教室等を活用して、放課後における子どもの活動場所を確保しました。</p> <p>柏森小学校は2教室、山名小学校は公民館視聴覚室、高雄小学校は郷土研究室及び会議室、扶桑東小学校は体育館会議室等を利用して、小学校授業日の下校時から午後5時まで開設しました。</p> <p>登録児童人数 152名（年度末）</p> <p>【過去の実績】</p> <p>R3 188名（年度末） R2 231名（年度末）</p>
課題及び今後の取組みの方向性	放課後児童クラブと放課後子ども広場を所管する課が同一となり、子ども課に移管したため外部評価の項目から除きます。
外部評価委員評価	児童が減少していくどこかの時期に、放課後児童クラブと放課後子ども広場を区別することなく同一にしていけたらよいと思います。

(2) 学校施設改修整備事業（学校教育課）

①大規模改修事業

事業の目的	環境配慮やバリアフリー化など社会的要請に適切に対応するため、安全面・防災面の計画的な大規模改修を実施し、教育施設に求められる機能・性能の維持を図ります。
事業内容及び実績評価	<p>令和4年度は、昨年度実施した扶桑東小学校の校舎非構造部材耐震化改修工事及び、扶桑北中学校体育館大規模改修工事を実施し、教育環境の防災機能強化並びに質的改善に努めました。また、山名小学校の校舎非構造部材耐震化改修工事及び、山名小学校体育館大規模改修工事の設計委託を実施し、令和5年度実施予定の工事に向けて準備を行いました。</p> <p>【過去の実績】</p> <p>R3 高雄小学校の校舎非構造部材耐震化改修工事 扶桑東小学校体育館大規模改修工事</p>
課題及び今後の取組みの方向性	来年度以降も長期事業計画に沿って、すべての学校で校舎非構造部材耐震化改修工事と、体育館大規模改修工事を実施し、適切な校舎の維持管理および、安心・安全な教育環境の整備に努めます。

②小学校・中学校エアコン整備事業

事業の目的	小学校・中学校にエアコンを設置することにより、良好な学習環境を確保する。
事業内容及び実績評価	<p>【過去の実績】</p> <p>R 1 高雄小学校、扶桑東小学校、扶桑中学校及び扶桑北中学校 エアコン設置工事</p> <p>H 3 0 柏森小学校エアコン設置工事 (H 2 8 山名小学校空調整備工事)</p>
課題及び今後の取組みの方向性	令和元年度までに、すべての小中学校の教室へのエアコン設置、また令和2年度に、すべての小中学校の体育館へ移動式エアコンを導入しました。

③長寿命化計画策定事業

事業の目的	学校施設について、中長期的な視点から財政負担の縮減や平準化を考慮しながら、適正な整備、更新、改修、維持管理を行うための方針を策定します。
事業内容及び実績評価	令和2年度に、町において「扶桑町個別施設計画（公共施設・公用施設編）」を作成し、その中で学校施設についても現状と今後の方針や検討課題を整理しました。
課題及び今後の取組みの方向性	すべての校舎に対し、築年数から割り出した残寿命までの活用を目指します。また、更新のタイミングでその時点での児童生徒数の推移に注視し、児童・生徒数の減少していく学校と増加する学校があるので、全体のバランスを見ながら適正な規模の学校施設について検討します。

外部評価委員 評価	エアコンの定期メンテナンスなど維持管理を含めて計画的な予算措置を行い、適切な施設維持管理を行ってください。学校施設のあり方については減少する子どもの推移を見据えてコンパクトシティにあったスタイルを近隣市町の取組を参考にしながら検討してください。
--------------	--

(3) スクールガードボランティアの実施（学校教育課）

事業の目的	保護者や関係諸機関・地域住民ボランティアの協力を得ながら児童・生徒の日常生活における安全を確保します。
事業内容及び実績評価	<p>スクールガード130名にご協力をいただき、登下校中の児童生徒を交通事故から守ることや不審者との遭遇を未然に防ぐことができました。</p> <p>【過去の実績】</p> <p>R3 138名 R2 146名</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>スクールガードの高齢化が進んでおり、今後も継続して見守り活動ができるよう、若い方や保護者にご協力いただきながら一定の人員を確保していくことが課題として挙げられます。学校運営協働協議会からのボランティア登録の呼びかけを進めています。</p>
外部評価委員評価	<p>スクールガードボランティアが高齢化しているため、活動中の安全を十分に確保できるよう配慮してください。いろいろな組織が重なり合って活動できるような仕組みを作ってください。</p>

(4) 町民聴講生制度（学校教育課）

事業の目的	生涯学習の場として、小中学校で行われている授業、行事等の教育活動の場を広く町民に開き、町民と児童生徒の共生と協力により質の高い教育活動の展開に期待するとともに新しい学校のあり方を模索します。
事業内容及び実績評価	<p>学び直したい町民に、学校で児童生徒とともに学習する場を提供しました。本年度の聴講者は、4名（高雄小学校1名・扶桑東小学校1名・扶桑北中学校2名）でした。</p> <p>【過去の実績】</p> <p>R3 1名（扶桑東小学校） R2 1名（扶桑東小学校）</p> <p>町民が、学校教育活動に参加することによって、新たな生きがいを見いだすとともに、聴講生の真摯に学ぶ姿勢や態度は、児童生徒の手本となり、好影響を与えています。</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>今後も、町民の希望者が学校の授業及び行事等の教育活動に、児童生徒と一緒に参加できる場を提供します。</p>
外部評価委員評価	<p>児童・生徒にとっても聴講生の学ぶ姿を通して、学習の仕方や楽しさを知る機会となっています。今後も継続して町民が児童生徒と一緒に参加できる場を提供してください。</p>

(5) 私学助成事業 (学校教育課)

①子育てのための施設等利用給付補助事業

事業の目的	令和元年10月からの幼児教育・保育無償化に伴い、町内在住で私立幼稚園に在園する満3歳児・3歳児・4歳児及び5歳児の保護者が負担する入園料及び授業料を補助します。
事業内容及び実績評価	361名に上限25,700円(月額)を補助しました。 【過去の実績】 R3 381名 R2 380名
課題及び今後の取組みの方向性	入園料及び授業料が月額上限額を超える幼稚園も見受けられるため、今後の幼児教育負担の軽減が課題です。令和5年度より機構改革により創設された子ども課に事務移行し、こども家庭庁の施策に沿って進めていきます。

②私立高等学校等授業料補助事業

事業の目的	私立高等学校等授業料補助条例に基づき、私立高等学校等に在籍する生徒に対し授業料の一部を助成し、保護者負担の軽減に努めます。
事業内容及び実績評価	130名の申請があり、129名に上限16,000円(年間)を補助しました。 【過去の実績】 R3 143名 R2 127名
課題及び今後の取組みの方向性	国、県、町のそれぞれに補助があります。令和2年度より国による「私学高校授業料実質無償化」が始まり、国、県の補助が手厚くなりました。愛知県では目安として年収720万円未満の世帯が実質無償化の対象となります。今後も社会情勢を鑑みながら適切な補助額の検討をしてまいります。

外部評価委員評価	子育て世代においては、厳しい生活環境が続いています。国や県の補助もありますが、細かい部分で適切な補助に努めてください。
----------	---

(6) 要保護及び準要保護児童・生徒援助事業（学校教育課）

事業の目的	経済的に就学困難な児童生徒に対して学用品費等の援助を行い、保護者負担の軽減を図ります。
事業内容及び実績評価	<p>経済的に就学困難な児童143名及び生徒80名に対して学用品費等の援助を行いました。</p> <p>また、新入学児童学用品就学準備費及び新入学生徒学用品進学準備費を入学前に支給しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による経済状況悪化の影響が長期化する中で、学校生活において使用する衛生用品を児童95名生徒67名に支援しました。</p> <p>【過去の実績】</p> <p>R3 児童 139名 生徒 84名</p> <p>R2 児童 139名 生徒 82名</p>
課題及び今後の取組みの方向性	新型コロナウイルスだけでなく、物価の上昇等家計に大きく影響することが続いているため、引き続き景気や雇用の状況など社会情勢の変化による対象者の変動を把握し、適切に補助を行います。
外部評価委員評価	就学援助の対象者が申請しやすい環境づくりに努めてください。また、受給世帯の家庭環境についても注視してください。

(7) 学校運営協働協議会事業（学校教育課）

事業の目的	児童生徒の保護者及び地域住民等と協働して学校運営の改善や児童生徒の健全育成について取り組みます。
事業内容及び実績評価	「地域と共にある学校づくり」を目指して、学校運営協働協議会委員を委嘱し各小中学校で、学校運営協働協議会を3回開催しました。地域住民等と学校との情報の共有を図るとともに、さまざまなスクールボランティア募集などの周知についてを協議しました。
課題及び今後の取組みの方向性	立ち上げた地域学校協働本部と共に、より多くの地域住民、団体等に参画いただき、学校と地域が協働して取り組む推進体制を構築する必要があります。
外部評価委員評価	地域との連携には連絡調整が必要です。学校側は地域に、より具体的な情報を提示して、地域と一体となって協働活動を進めてください。

(8) 学校給食事業 (学校教育課)

①食育推進事業

事業の目的	食育について、児童生徒が食の自己管理能力を高められるよう、継続的に取り組んでいきます。
事業内容及び実績評価	<p>栄養教諭による給食時訪問指導（小学校1年生から中学校3年生までの93クラス）で、児童生徒と会食することにより、給食の実態を把握し、望ましい食習慣を身につけさせるため、専門的な立場から指導できました。</p> <p>学校給食で地場産物の使用率アップを目標とした取り組みを年3回（6月・11月・1月）実施しました。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、これまで通りの質と量を維持した学校給食を提供するため賄材料費を増額しました。</p> <p>献立募集『わが家の味を給食に！』562献立中、入賞作品10点を選定しました。</p> <p>夏休みには、親子料理教室を実施し、親子17名が参加しました。</p>
課題及び今後の取組みの方向性	栄養教諭による給食時訪問指導の1クラス1回あたりの指導時間が限られているなど課題はあるが、今後も継続的な指導を行っていきます。

②食物アレルギー対応食の実施 (学校教育課)

事業の目的	食物アレルギーを有する児童生徒に対し、きめ細やかな対応を心がけ、発育過程に即した安全安心でおいしい学校給食を提供します。
事業内容及び実績評価	<p>食物アレルギー児童生徒25名に対応食を提供しました。</p> <p>【過去の実績】 R3 29名 R2 31名</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>献立作成に始まり、調理から提供まで、複数の者でチェック対応しています。</p> <p>食物アレルギー児童生徒の人数は減ってきていますが、アレルギーの種類が多く複雑となってきたため、チェック体制の充実にこれからも努めていきます。</p>

外部評価委員評価	<p>栄養教諭2名で行う食育の活動には限界があるため、漠然と食の自己管理能力を高めるという目的ではなく、扶桑町として何が課題かを見直し目標を掲げ、データを取り実態を把握し取り組まれるよう模索してください。</p> <p>アレルギー対策では、複雑すぎる対応は安全で無くなる可能性があるため、効率よく安全なチェック体制が何かを考えてください。</p>
----------	---

(9) 外国語講師派遣事業（学校教育課）

事業の目的	外国語講師の派遣を通して、小学校の段階から外国語に親しみ、国際感覚を身につける機会を創出します。
事業内容及び実績評価	語学指導等を行う外国人英語指導助手を小学校2名、中学校1名派遣しました。 小学校では児童の英語や外国文化に対する興味・関心を高めることができました。また、中学校においては、英語授業の補助を行うことで「生きた英語」に接することができました。
課題及び今後の取組みの方向性	小学5・6年生の英語教科化に伴い、更なる体制の強化、内容の充実が課題となります。
外部評価委員評価	英語講師が中学校での英語に、小学校の英語教科がどのようにつながっているのか、コミュニケーションを取り進めることで、より内容が充実したものになるのではないかと。

(10) ICT教育推進事業（学校教育課）

事業の目的	時代のニーズに合う環境を整備し、国際化・情報化社会に対応した教育の充実を図ります。
事業内容及び実績評価	令和2年度に整備した校内無線LAN環境及び情報端末や、新型コロナウイルス感染症対策にて整備した大型モニター等を活用し、国のGIGAスクール構想を実現すべく、教育の情報化に努めました。
課題及び今後の取組みの方向性	日々変化する教育の情報化やICT活用について、今後も積極的に研究し、情報リテラシー等も含めての適切な環境づくりに努めます。
外部評価委員評価	生成AIも入ってきた中で、学校現場と協力しながら、情報を上手に利用し、得た情報をヒントにさらにそれに自らの考えを加えるような、より良い利用となるよう努めてください。

(11) キャリア教育推進事業（学校教育課）

事業の目的	職場体験学習等を通して生徒が職業の魅力を感じ、望ましい勤労観や職業観の醸成を図ります。
事業内容及び実績評価	<p>両中学校2年生が、新型コロナウイルス感染症の対策を取りながら職場体験を行いました。また扶桑中学校1年生は社会人と語る会で仕事のやりがいについての講演会を実施し、自分たちの言動を振り返り、自己理解を深めました。3年生は持続可能な社会や地域の担い手としての意識を高め、将来の夢、進路決定自己確認のまとめ・発表を行いました。扶桑北中学校は、1年生は上級学校訪問を行い、中学校と高等学校の違いや専修学校の専門性について学ぶとともに、高等学校卒業後の進路や生き方を見つめるきっかけとなりました。2年生は職場体験のレポート作成をし、自分の今後の生き方について考えました。3年生は「持続可能なまちづくり」という取組を総合的な学習の時間に行い、キャリア学習を進める中で自分の進路の選択と決定につなげることができました。</p> <p>扶桑中学校 163名 57事業所 扶桑北中学校 145名 53事業所</p> <p>【過去の実績】</p> <p>R3 事業所による体験は未実施 R2 事業所による体験は未実施</p>
課題及び今後の取組みの方向性	学年ごとに順に、効果的な事業を実施していきたい。
外部評価委員評価	職業体験に協力をいただいた事業所にも満足感を得られる何かを考えてください。社会見学に終わらず、未来への展望につながる実体験が重要であるので、工夫を重ねて、郷土愛が育まれるような事業となるよう取り組んでください。

(12) 養護教諭及び支援員等配置事業（学校教育課）

①養護教諭加配事業

事業の目的	児童・生徒数の多い学校に対し、養護教諭の加配をします。
事業内容及び実績評価	<p>愛知県の加配基準（小学校850人・中学校800人）のおおむね80%を超える柏森小学校に1名加配しました。</p> <p>【過去の実績】</p> <p>R3 柏森小学校1名 R2 柏森小学校1名</p>

課題及び今後の取組みの方向性	児童・生徒数の多い学校に対し、引き続き必要人数を配置出来るよう努めます。
----------------	--------------------------------------

②特別支援員配置事業

事業の目的	学校において特に通常学級に障害をもった児童生徒が通常の学習・生活活動等に困難が生じないよう特別支援員を配置します。
事業内容及び実績評価	特別支援員を小学校21名、中学校2名配置しました。 【過去の実績】 R3 小学校21名、中学校2名 R2 小学校24名、中学校2名
課題及び今後の取組みの方向性	他課と連携し、対象児童生徒の数や状態の把握を強化するとともに、引き続き必要人数を配置出来るよう努めます。 時点毎にニーズが変わるため、柔軟に対応する必要があります。

③医療的ケア支援員配置事業

事業の目的	医療的ケアを必要とする児童に対し、医療的ケア及び生活支援を行うため、医療的ケア支援員を配置します。
事業内容及び実績評価	医療的ケア支援員を扶桑北中学校に1名（2名で交替）配置しました。県主催の医療的ケア支援員の研修を受講しました。 【過去の実績】 R3 1名（2名で交替） R2 1名（2名で交替）
課題及び今後の取組みの方向性	他課と連携し、対象児童生徒の数や状態の把握を強化するとともに、引き続き必要人数を配置出来るよう努めます。 時点毎にニーズが変わるため、柔軟に対応する必要があります。

④部活動外部指導者配置事業

事業の目的	地域から指導者を招くなど、地域の教育力を活かした部活動の充実を図ります。
事業内容及び実績評価	部活動外部指導のボランティアとして、扶桑中学校3名、扶桑北中学校2名、計5名の協力をいただき、部活動の充実を図りました。 【過去の実績】 R3 扶桑中学校 3名 扶桑北中学校 1名 R2 扶桑中学校 3名 扶桑北中学校 2名

課題及び今後の取組みの方向性	外部指導者の人数が少数であるため、さらなる充実を図れるよう、外部指導者の増員が課題となります。また、中学校の部活動の地域への移行についても含め今後事業の見直しが必要となります。
----------------	--

外部評価委員 評価	<p>様々な子がいる日々の教育活動に対して予算的な制約のある中、担任以外にサポートする人がいる充実した体制で行われていると判断します。</p> <p>中学校の部活動指導については地域移行に向けて検討会を重ね、指導者には報酬を払って指導をしていただき、適切に進めてください。</p>
--------------	--

(13) 児童生徒支援事業（学校教育課）

①適応指導教室運営事業

事業の目的	学校生活への適応が困難で、不登校及びその傾向にある児童生徒のために学校復帰をめざして支援を行います。
事業内容及び実績評価	<p>柏森学習等供用施設に適応指導教室「あいあい」を設置し、適応指導教室 指導員 2 名、支援員 1 名を配置し、26 名の児童生徒が利用しました。</p> <p>小学校 7 名 中学校 19 名</p> <p>【過去の実績】</p> <p>R 3 27 名 R 2 15 名</p>
課題及び今後の取組みの方向性	多様な児童生徒及び保護者等に対応するため、今後も学校との連携を深めながら適応指導教室の運営を行い、児童生徒の心の居場所さがしを進めていきます。（R 5 の機構改革を機に教育支援センターと名称を変更）

②就学前教育相談事業

事業の目的	特別支援を必要とする就学予定園児に対して適切な就学指導を行うため、関係機関との連携を図り、保護者の理解と協力を得ながら教育支援の充実を目指します。
事業内容及び実績評価	<p>就学予定園児について町内各保育園を訪問し現状を調査、県や特別支援学校の相談事業等の紹介をしました。また、保護者と相談し、事前に就学予定校と連携し学校見学を行いました。</p> <p>就学時健診で就学に際しての支援を必要とする園児に対して、保護者との就学相談をし、就学相談内容を基に町教育支援委員会を開催しました。なお、令和 4 年度協議した就学予定児童は 16 名です。</p> <p>【過去の実績】</p> <p>R 3 9 名 R 2 8 名</p>

	なお、在校児童生徒は各学校からの報告を基に協議しました。
課題及び今後の取組みの方向性	就学後も各学校において年々教育支援を必要とする児童生徒が増加しています。保護者の意見を基に、保護者の理解・協力が得られるよう適切な就学前教育相談を行う必要があります。

③スクールソーシャルワーカー配置事業

事業の目的	教育分野に関する専門的な知識と経験を活かし、今日的な課題を抱える児童生徒及びその家庭の置かれた環境に働きかけ、課題の解決を目指します。
事業内容及び実績評価	<p>学校教育課にスクールソーシャルワーカーを1名・スクールメンタルサポーターを1名(扶桑中学校)配置し、課題の解決に向けて、学校と連携するとともに、福祉児童課を始めとする関係諸機関等と情報交換・行動連携を大切にして取り組みました。学校教育課にて、「こころの電話ふそう」を設置し、児童生徒及び保護者等の相談を延べ294件(電話相談分)受け付けました。相談内容については不登校・進路適性・学校関係・友人(人間)関係・家族関係・子育て・発達障害等と多種多様です。</p> <p>活動件数722件(延べ数)・支援人数84名</p> <p>活動内訳</p> <p>学校訪問等34件・家庭訪問45件・あいあい連携103件・面談62件・関係機関(福祉児童課・一宮児童相談センター・コロニー・保健センター・警察・医療機関など)連携184件・電話相談294件</p> <p>【過去の実績】</p> <p>こころの電話等(電話相談)</p> <p>R3 257件 R2 225件</p>
課題及び今後の取組みの方向性	複雑かつ多岐に亘る課題の解決に向け、今後も関係機関等とより綿密な情報交換・行動連携に取り組み、体制の充実を図ります。

外部評価委員評価	就学前の子どもの家庭・児童・生徒のそれぞれの相談窓口が、総合的に支援となることがとても重要であるので、関係機関と連携しながら今後も家庭、保護者、生徒への支援となるよう取り組んでください。
----------	---

(14) 地域学習活動支援事業（学校教育課）

事業の目的	児童に主体的な学習の仕方を身に付けさせるとともに、学ぶことの楽しさや成就感を体得させながら学習意欲を向上させ、学力の定着を図ります。
事業内容及び実績評価	小学3年生から6年生の児童を対象に、算数の基礎学力定着のために土曜教室を新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら18回開催し、参加者は80名でした。 【過去の実績】 R3 10回実施 80名 R2 5回実施 87名
課題及び今後の取組みの方向性	希望人数が年々増えてきており、定員を増やすことが会場や人員の関係で難しいので、今後の在り方について検討する必要がある。
外部評価委員評価	課題の解消には難しい問題がありますが、事業継続に努めてください。

(15) いじめ問題対策連絡協議会（学校教育課）

事業の目的	扶桑町いじめ防止基本方針に基づき、いじめ問題に関係する諸機関が連携を図り、いじめの早期発見・防止に努めます。
事業内容及び実績評価	11月2日にいじめ問題対策連絡協議会を開催しました。またいじめ問題専門委員会は11月18日開催し、全国・県・当町はいじめ問題等の件数等を基に情報交換等を行いました。
課題及び今後の取組みの方向性	重大事態の対処等にも専門委員会等で関係機関と情報交換を行うことにより、緊急時に連携しやすくします。
外部評価委員評価	見えない部分を早期発見・防止するという難しいこととなりますが、重大事案が発生しないように努め、公表についても適切に行ってください。

(16) 青少年健全育成推進事業（生涯学習課）

事業の目的	<p>家庭・学校・地域・職場・企業などが一体となり、青少年の健全育成に対する理解を深め、地域住民との交流活動等の取組を推進します。</p>
事業内容及び実績評価	<p>青少年の健全育成に対する理解を深めるため、青少年の非行・被害防止、子ども・若者育成支援、家庭の日の各県民運動の展開と合わせ、看板設置、広報紙や広報無線などによる啓発活動に取り組みました。</p> <p>青少年問題協議会 7月15日 〈啓発活動等〉</p> <p>青少年の非行・被害防止 7月 1日～8月31日 12月20日～1月10日</p> <p>子ども・若者育成支援 11月 1日～30日</p> <p>家庭の日 2月 1日～28日</p> <p>また、二十歳のつどいについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止として、午前と午後の2部制で、二十歳の若者と恩師のみの出席により、1月8日に開催しました。</p> <p>出席数 262名（うち二十歳の若者247名）</p> <p>【過去の実績】</p> <p>R3 306名（うち新成人293名）</p> <p>R2 325名（うち新成人313名）</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>二十歳のつどいは、二十歳の若者により組織された実行委員会が企画・運営しています。また、学校や関係団体と連携して、青少年と地域との交流を深める機会や企画を検討していきます。</p>
外部評価委員評価	<p>二十歳のつどいは、各中学校の卒業生が中心となって企画・運営を進めていく実行委員会が、引き続き機能していくようお願いいたします。</p>

(17) 家庭教育推進事業（生涯学習課）

事業の目的	<p>心身ともに健全な子どもを育てるため、地域ぐるみの家庭教育や家庭の日の普及・啓発活動を行います。</p>
事業内容及び実績評価	<p>子ども会連絡協議会と共催し、子どもからお年寄りを対象とした健全な家庭環境づくりをテーマとする家庭教育推進事業講演会を計画しました。</p> <p>（計画内容）</p>

	<p>開催日 1月15日 入場者数 13名 演 題 「竹の手づくりおもちゃで遊ぼう！」 講 師 NPO 法人竹林救援隊</p> <p>【過去の実績】 R3 165名 R2 中止</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>内容がのこぎりや火を使用する場面があり、今回は募集人数がお子様30名と少ない人数であった。今後においても魅力ある家庭教育を学ぶ機会を設けていきます。</p>
外部評価委員評価	<p>家庭教育推進事業については、参加人数にこだわることなく、魅力あるものを企画してください。</p>

(18) 生涯学習事業（生涯学習課）

①生涯学習講座事業

事業の目的	<p>人々が生きがいや自己表現を求めて、学習活動等に自主的・自発的に参加できるような機会と場の整備の充実及び学習情報の提供を促進します。</p> <p>また、社会参加を通して地域社会づくりに貢献できる人間形成を目指した生涯学習の推進を図ります。</p>
事業内容及び実績評価	<p>① 生涯学習講座 前期講座7講座 98名・後期講座11講座 173名 合計18講座 271名が受講しました。</p> <p>※なお、前期講座については、既定の人数に満たなかった2講座を中止しました。</p> <p>【過去の実績】 R3 20講座 279名 R2 21講座 161名</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>今後も各講座において、幅広い年齢層に受講していただけるよう、魅力ある企画を立案していきます。</p>

②世代間交流事業

事業の目的	各地区の子どもからシニア世代までが、スポーツをとおして世代間交流を行います。
事業内容及び実績評価	<p>子ども会連絡協議会と連携し、スポーツイベントをとおして、各地域における子どもからシニア世代までが交流できる機会を設けるため、謎解き要素やクイズ・ゲームを取り入れたウォーキング大会「第6回ミステリーウォーク」を開催しました。実施にあたり、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、参加人数を縮小し、グループごとの出発時間を分散しました。</p> <p>開催日 3月12日 参加人数 282名</p> <p>【過去の実績】 R3 283名 R2 180名</p>
課題及び今後の取組みの方向性	子ども会連絡協議会役員の協力を得て、幅広い年齢層に参加していただけるように、継続して開催を計画していきます。

③文化祭、町民音楽祭、美術展、町民茶会

事業の目的	「文化の香り高いまちづくり」を推進するために、町民の自主的な文化活動・創作活動の場を提供します。
事業内容及び実績評価	<p>① 第38回町民音楽祭 来場者数 156名 【過去の実績】 R3中止 R2 中止</p> <p>② 第38回ふそう美術展 一般出品 112点(絵画・書・写真・彫刻・工芸) 小中学生出品 5点(絵画・工作・書) 来場者数 1,075名 【過去の実績】 R3 739名 R2 中止</p> <p>③ 第32回町民茶会 来場者数450名 【過去の実績】 R3 中止 R2 中止</p> <p>④ 扶桑町文化祭作品展示会 来場者数1,094名 【過去の実績】 R3 中止 R2 中止</p> <p>⑤ 扶桑町文化祭活動発表会 来場者数541名 【過去の実績】 R3 中止 R2 中止</p>

課題及び今後の取り組みの方向性	町民の教養を深め、地域文化の発展を目的として、芸術、芸能等の文化振興の寄与に努めます。
-----------------	---

外部評価委員評価	生涯学習講座等、幅広い世代の人が参加したくなるような魅力あるものを企画してください。
----------	--

(19) スポーツの普及促進・推進事業（生涯学習課）

①スポーツ大会の実施

事業の目的	体育振興を推進し、明るく豊かなまちづくりを目指します。												
事業内容及び実績評価	<p>スポーツ推進委員会を中心とし「チャレンジデー」「スポーツフェスティバル」「走ろう会～今年ものんびり歩こう会～」「ミステリーウォーク」を新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図り開催しました。また、「愛知県市町村対抗駅伝競走大会」にも参加しました。</p> <p>参加者数等</p> <p>①チャレンジデー</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>扶桑町</th> <th>宮城県角田市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口</td> <td>34,984人</td> <td>27,770人</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>10,114人</td> <td>6,124人</td> </tr> <tr> <td>参加率</td> <td>28.9%</td> <td>22.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【過去の実績】</p> <p>R3 おうちチャレンジデー 参加者数 340名</p> <p>R2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>②スポーツフェスティバル2022 参加者数 198名</p> <p>【過去の実績】</p> <p>R3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>R2 (体育祭) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>③走ろう会～今年ものんびり歩こう会～ 参加者数 359名</p> <p>【過去の実績】</p> <p>R3 181名</p> <p>R2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>④ミステリーウォーク 参加者数 282名</p>		扶桑町	宮城県角田市	人口	34,984人	27,770人	参加者	10,114人	6,124人	参加率	28.9%	22.1%
	扶桑町	宮城県角田市											
人口	34,984人	27,770人											
参加者	10,114人	6,124人											
参加率	28.9%	22.1%											

	<p>【過去の実績】 R 3 283名 R 2 180名 ⑤愛知駅伝 町村の部（順位） 6位／16位 【過去の実績】 R 3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 R 2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>70回続いた町民体育祭をリニューアルし、今年度から開催したスポーツフェスティバルは、多くの参加者に好評を得ることができましたので、さらに多くの町民に親しまれるイベントにしていきたいと思います。</p>

②総合型地域スポーツクラブ

事業の目的	<p>既存の総合型地域スポーツクラブの支援をします。</p>
事業内容及び実績評価	<p>各種スポーツ教室の開催 新型コロナウイルス感染症の影響で事業の中止や縮小がありましたが、その中で誰でも気軽に体を動かすことができる機会を提供し、住民の健康意識の向上に貢献できました。 会員数 835名 スポーツ教室 26教室 1,066名 【過去の実績】 R 3 841名 25教室 1,024名 R 2 787名 24教室 948名</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>多くの教室・イベントを展開できているので、安定した運営ができるよう引き続き助言指導を行います。</p>

③学校体育施設スポーツ開放事業

事業の目的	<p>町内各小中学校の運動場や体育館並びに県立丹羽高等学校のグラウンドを一般開放し、運動をする場を提供し、健康増進に寄与します。</p>
-------	--

<p>事業内容及び実績評価</p>	<p>学校施設について、学校行事に支障の無い範囲で一般に無料で学校体育施設を開放しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で利用制限をしましたが、健康増進、地域コミュニティの促進に貢献できました。</p> <p>利用団体登録数 103団体</p> <p>小中学校等利用時間</p> <p>運動場 1,497時間 体育館 5,196時間</p> <p>【過去の実績】</p> <p>R3 110団体</p> <p>運動場 950時間 体育館 4,731時間</p> <p>R2 103団体</p> <p>運動場 1,088時間 体育館 718時間</p>
<p>課題及び今後の取組みの方向性</p>	<p>現在、学校施設の使用料は無料ですが、受益者負担の観点から、使用料徴収の検討をしていきます。</p>

<p>外部評価委員評価</p>	<p>子どもから高齢者までたくさんの方が教室やイベントに参加をし、気軽に運動ができる場を提供しているので、今後も継続していただきたい。また、健常者だけでなく、障害者スポーツも取り入れ、広く展開してください。</p>
-----------------	---

(20) 図書館事業（生涯学習課）

①図書館インターネット予約事業

事業の目的	インターネットから図書の予約をできるようにし、利用者の利便性を図ります。
事業内容及び実績評価	<p>年間予約件数 978件 年間予約点数 2,392点</p> <p>【過去の実績】</p> <p>R3 825件 R3 2,235点</p> <p>R2 1,573件 R2 1,905点</p> <p>図書館カウンターに設置した利用者用端末（OPAC）からの予約も実施しています。従来の手書きの予約用紙を併用しての運用です。</p> <p>年間予約点数 993点</p> <p>【過去の実績】</p> <p>R3 847点 R2 874点</p>
課題及び今後の取組みの方向性	図書館のホームページをよりわかりやすくし、利便性の向上、読書活動の推進を図ります。

②図書館整備運営事業

事業の目的	暮らしの中に生きる図書館を目指し、新刊の図書と視聴覚資料を購入し、資料の充実や利用者の利便性を図ります。
事業内容及び実績評価	<p>新刊図書4,134冊、視聴覚資料32点を購入して、蔵書の充実を図りました。</p> <p>【過去の実績】</p> <p>R3 新刊図書 4,133冊 視聴覚資料 40点</p> <p>R2 新刊図書 4,554冊 視聴覚資料 102点</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>利用者及び社会的ニーズに応える図書整備運営に努めます。</p> <p>新刊図書のPR、本の特集コーナーの設置にも注力し、読書の楽しさをお伝えするとともに、貸出点数の増加を図ります。</p>

外部評価委員評価	今まで以上に多くの町民の皆さんが本に親しめるような選定を行い、他の図書館と連携をしながら、本の充実を図ってください。
----------	--

(21) 図書館ボランティアの養成・支援（生涯学習課）

事業の目的	<p>ボランティア団体の方々との協力を図り、協働して子どもたちに読書活動の推進を図ります。</p> <p>本の修理ボランティアにより、本の寿命を長くし継続的に使用できるよう図っていきます。</p>
事業内容及び実績評価	<p>6月からボランティア4団体により、毎週土曜日に「『おはなし』と『あそび』の広場」を再開催し、紙芝居、絵本の読み聞かせのほか、※ストーリーテリング、かんたん工作、※パネルシアター、朗読会等を実施し、子どもたちにおはなしの楽しさを教え、読書に対する親しみが更に増すよう働きかけました。</p> <p>また、毎週月曜日に、親子向けとして「あかちゃん絵本よみきかせ会」も6月から再開催し、第1月曜日を個人ボランティア、他の月曜日を職員で行いました。</p> <p>本のQQたい（本の修理ボランティア）の活動により、1,539冊の本の修理を行い利用者に提供することができました。</p> <p>また、本の修理の技術向上を目的とした研修会も行いました。</p> <p>【用語の意味】</p> <p>※ストーリーテリング 語り手が物語を覚えて、自分の言葉に直して子どもに語ります。</p> <p>※パネルシアター パネル布を貼ったボードを舞台に、作った絵人形を貼ったり外したりして、物語を展開する人形劇のこと。</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>ボランティアの募集等を行い、本の読み聞かせ等を充実させます。</p>
外部評価委員評価	<p>ボランティアの方々が高齢化になる中で、今までとは違ったボランティアの仕組みを考えてください。ママ友同士の横の繋がりなど、時間をかけて進めてください。</p>

(22) 文化会館事業（文化会館）

①公演事業

事業の目的	町民の文化振興意識の高揚を図り、文化の香り高いまちづくりを推進します。
事業内容及び実績評価	<p>① ふそう文化大学 公演回数 4回 入場者数 1,283名 フラメンコギター、二胡、和太鼓、狂言の公演を行い、幅広い分野の文化芸術に触れていただきました。 【過去の実績】 R3 4回 763名、R2 4回 707名</p> <p>② コンサート 公演回数 15回 入場者数 3,199名 シャンソン、ジャズ、タンゴ等の公演を行い、幅広い年齢層の方が音楽に親しめる機会を設けました。 【過去の実績】 R3 10回 1,768名、R2 2回 436名</p> <p>③ 伝統芸能 公演回数 8回 入場者数 1,045名 落語、講談の公演を行い、質の高い文化芸術を鑑賞していただきました。 【過去の実績】 R3 4回 1,179名、R2 3回 775名</p> <p>④ 体験企画等 実施回数 10回 入場者数 302名 扶桑文化会館探検ツアー、グランドピアノ開放事業等を開催し、幅広い年齢層の方に参加していただきました。 【過去の実績】 R3 8回 461名、R2 7回 348名</p>
課題及び今後の取組みの方向性	文化会館が持つ特性を最大限生かし、質の高い文化公演を開催し、町民生活の向上と文化芸術の高揚につながるよう努めていきます。

②ふそこのロビコン（ロビーコンサート）（文化会館）

事業の目的	Tシャツとジーンズ気分で聴きに來られるアットホームな手作りの無料ロビーコンサートを開催します。
事業内容及び実績評価	<p>ロビコン開催回数 16回 入場者数 1,352名 (昼 16回 1,352名 夜 0回 0名)</p> <p>幅広い世代に楽しんでいただけるように、多様な編成にて、開催しました。</p> <p>また、出演者の了承を得た公演に限り、動画配信 (YouTube) を実施しました。(再生回数 1,585回)</p> <p>【過去の実績】</p> <p>R3 開催回数 16回 入場者数 1,108名 (昼 16回 1,108名 夜 0回 0名)</p> <p>R2 開催回数 16回 入場者数 1,183名 (昼 12回 1,004名 夜 4回 179名)</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場をロビーからホールへ変更し、開催しました。</p> <p>また、イオンモール扶桑からの提案に対応して、登録アーティストを出演者とした「ふそこのロビコン」をイオンモール扶桑にて開催しました。</p>
課題及び今後の取組みの方向性	幅広い世代に楽しんでいただけるように、魅力ある演奏者を招き、開催していきます。

③扶桑町登録アーティスト紹介事業（文化会館）

事業の目的	まち・ひと・しごと創生総合戦略の一環で、文化振興を図るために町内の団体へアーティストを紹介します。
事業内容及び実績評価	<p>町内の団体等へ登録アーティストを紹介する事業です。</p> <p>紹介件数 1件 (登録者数 34組)</p> <p>【過去の実績】</p> <p>紹介件数 R3 0件 (登録者数 32組)</p> <p>紹介件数 R2 0件 (登録者数 27組)</p>
課題及び今後の取組みの方向性	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により、町内の多くの行事等が中止となり、登録アーティストは活躍の機会を喪失しました。アーティストの活躍の場の提供のために、本事業の情報発信等に努めます。

外部評価委員評価	文化事業も制限なく行えるようになってきています。引き続き多様な公演を開催してください。イオンモール扶桑でのコンサート開催を確認しました。地元の施設等の有効活用も継続してください。
----------	---

(23) ボランティア団体（ふそう文化会館夢応援団、扶桑文化会館友の会）の育成（文化会館）

事業の目的	文化振興活動を協働の観点から支援し、文化の香り高いまちづくりを推進します。
事業内容及び実績評価	<p>夢応援団 16名 友の会 14名</p> <p>ふそう文化会館夢応援団は自主事業等開催時の会場案内活動を、扶桑文化会館友の会は自主事業の広報活動及び入場券発売初日における受付事務を行いました。</p> <p>【過去の実績】</p> <p>R3 夢応援団 18名 友の会 12名</p> <p>R2 夢応援団 20名 友の会 13名</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、マスク、フェイスシールド、手袋等を配付しました。また、当該感染症への対応ミーティングを随時、開催しました。</p>
課題及び今後の取組みの方向性	<p>随時のミーティング等にて、ボランティア活動に係る提案、相談に応じ、活動の喜びに繋がるように努めます。</p> <p>スキルアップや相互の交流を深めるための場を設けるように努めます。</p> <p>ボランティアが高齢化している現状と、若者の加入が見込まれないことが課題です。名古屋経済大学とも連携を取り、学生のボランティア参加を進めます。</p>
外部評価委員評価	ボランティアが高齢者中心となっています。大学生の参加も継続し、若いボランティアの取り込みに努めてください。

(24) 文化財保護事業（生涯学習課）

事業の目的	郷土の文化財に対する正しい理解が郷土を愛する心につながるの で、それらを大切に守り次代に引き継ぐことができるよう、保存と 活用を図ります。
事業内容及 び実績評価	文化財保護団体等に維持管理のための補助金を交付しました。 補助金額 14種類 105,000円 【過去の実績】 R3 14種類 105,000円 R2 14種類 105,000円
課題及び今 後の取組み の方向性	文化財を保護保全していくために、文化財保護審議会委員、管理 者（所有者）や地域との連携を継続していきます。中央公民館にお いては、展示スペースに歴史資料を展示し、多くの町民の目に触れ る機会を増やしていきます。
外部評価委 員評価	扶桑町文化財について、多くの方に関心を持ってもらえるよう歴 史資料の展示や広報への掲載など目に触れる機会を継続してくださ い。

7. 令和4年度扶桑町教育委員会の事務の点検及び評価のまとめ

扶桑町教育委員会では、～次代と豊かな心を育むまちづくり～を目標とし、その充実にむけてさまざまな事業を推進されています。

令和4年度においては、コロナ禍の終息の目途が立たない中ウィズコロナ生活への移行が求められ、積極的な事業推進を心がけ、十分な感染予防対策の下に、今こそ～ゆたかな心を育むまちづくり～が大切と関連行事も積極的に開催されてきました。

今回、そのさまざまな事業や関連行事の実施状況・参加状況さらには行事に参加した町民の声など詳細な説明を受け、改めて各事業の方向性、ここまでの実績と成果・課題等について細やかな点検と評価を行いました。

総論として、コロナ禍にあっても各事業が十分な検討と配慮のもとに着実に実施されており、おおむね期待していた成果を上げていると判断いたしました。

学校教育関係の施設整備の充実や、児童生徒支援、また課題を抱える子供支援、更に生涯学習支援等いずれも、創意と工夫を生かした事業運営がなされていました。

コロナ禍での事業推進に当たって取り組まれた新たな試みや改善を、次に生かすようさらなる工夫改善を進め、今後とも一層の充実に努めてください。

残念なことに COVID19 はひたひたと迫っているようで、県知事はこの8月第9派に入ったとの認識を示されました。再び困難が待ち受けているかもしれません。

また生成 AI の導入が現実のものとなりつつあり、学校教育の現場に、児童生徒にその活用のあり方を検討することが求められてきます。

今後とも、教育委員会には一層のご尽力を願い、実情に応じた取組を期待します。

令和5年8月9日

扶桑町教育委員会外部評価委員 小室 明 正

倉橋 伸 子